

【尼崎市】 校務 DX 計画

文部科学省が、「GIGA スクール構想の下での校務の情報化の在り方に関する専門家会議」の提言を取りまとめ、次世代の校務 DX の方向性を示したことを受けまして、教育委員会及び学校が教育 DX を推進する際に取組む項目を次に掲げる事項を重点的に推進します。

1 地域 DX 推進の構築

校務 DX による教員の働き方改革を通じた教育の質の向上推進のため、兵庫県が事務局である「校務標準化検討ワーキンググループ(仮称)」に参画するとともに、その他の参画市町と連携し、次世代型校務支援システムの共同調達・共同利用の検討を行う。具体的には、令和7年度は、県内市町の校務プロセスと帳票類の現状把握・分析と課題抽出を行った上で、校務標準化のガイドライン策定作業に努めます。

2 校務支援システムについて

兵庫県内共同調達を視野にいれ、現行の校務支援システムから、次世代型校務支援システムの導入を検討していきます。校務標準化には本事業に参画する市町と協議するだけでなく、本事業に参画しない市町の意見も聞きながら取組を進める必要があることから、「兵庫県教育の情報化推進協議会」の部会と位置付けられた、「校務標準化検討ワーキンググループ(仮称)」協議会総会での意見交換・意見聴取された内容に注視し、県内市町の合意形成に参画します。

3 保護者からの提出書類のデジタル化

小・中学校等における各種調査票などの提出書類を対象に、保護者が自身のスマートフォン等からオンライン提出ができ、教職員が端末上で閲覧・管理できる仕組みや、オンライン上での欠席・遅刻連絡や保護者アンケート、お便りのデジタル化を実現できるシステムの導入の検討に努めていきます。